

ほくと

2005
Vol. 3

議会だより

きれいな空気 たくさんの陽を浴びて！



のびのびと育つブルーベリーと園児たち

6月定例会



市長施政方針P2
一般会計補正予算を可決P3～5
議案審議の内容/会期日程	
常任委員会報告/第2回臨時議会P6～7
一般質問に23議員P8～19
【声のひろば】7人P20～21
北杜市ウォッチングP22

白倉市長の 施政方針



積極的に行財政改革を推進

北杜市が発足し、七カ月が経過しました。合併前からの課題も山積していますが、一日も早く体制を確立すると共に、山積する諸課題の解決に向け、職員と一丸となり、全力で努力してまいります。



輝く未来に

行財政改革を 強力に推進

「行財政改革アクションプラン」を本年度策定することとしており、本市の将来を見据えた「北杜市再建のための行革」と位置づけ、行財政改革に積極的に取り組む所存です。

小淵沢町 との合併

北杜市・小淵沢町の職員による三つの専門部会を設置し、事務事業の一元化や条例、規則の整備などの課題に取り組んでいるところです。

一斉滞納整理

全職員による一斉滞納整理を行いました。今後、自主財源確保のため、定期的に滞納整理を行っていきたく考えております。

峡北地域

最終処分場

早期に建設地が決定さ

れ、最終処分場問題が決着することを強く望むものであり、計画規模の縮小を含め、安全・安心な施設となるよう、県当局に全力で働きかけていきます。

介護保険事業計画

高齢者保健福祉計画

介護保険法に基づき平成二十年度までの第三期介護保険事業計画、高齢者保健福祉計画の策定に向けて作業を進めております。

子育て支援

昨年度「北杜市次世代育成支援行動計画」を策定いたしました。就学前と小学生の保護者を対象としたアンケート調査を実施し、保護者の皆さまの、小児医療体制の充実を求める声を改めて深く認識したところであります。

工場誘致

小淵沢町に本社のあった光学単結晶メーカーの株式会社オキサイドを、本市工場誘致条例に基づ

き、誘致工場第一号として指定、武川町で竣工式が行われました。今後も企業誘致を積極的に進めてまいります。

観光の振興

北杜市の重要な観光資源である、市内各地の観光活動を積極的に進めてまいります。

故金田一春彦先生の ご遺族からの寄附

「ご遺族のご厚意により、今までの資料約二万点に加え、大変貴重な資料約二千点が本市に寄贈されました。



大きく育て！



六月定例会は、六月十四日から二十四日までの十一日間の会期で開催されました。開会の初日、白倉市長の施政方針（要約掲載）と議案説明がありました。

六月定例会に提出された議案は、補正予算六件、条例九件、認定一件、可決・認定・同意されました。

専決処分報告及び承認十七件、繰越計算書報告七件、同意二件、発議三件、選挙一件、請願二件、その他の六件、合計五十四件でした。今回、委員会ごとに案件を審査し、すべての議案関係を慎重審議し、原案どおり

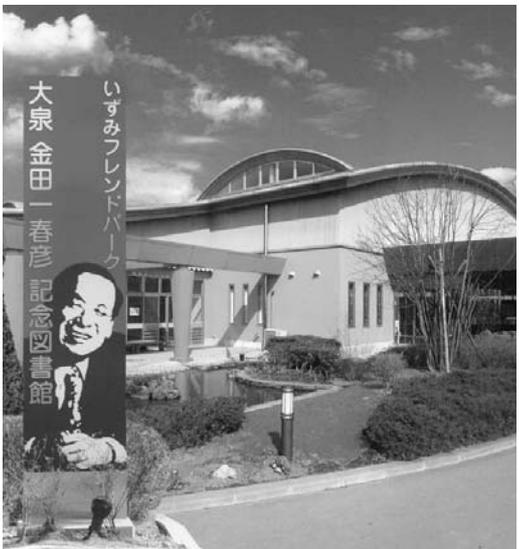
一般会計の第一回補正予算は、五つの主要事業を軸に編成されており、補正額は一億三、九六九万円となりました。補正の財源は、地方交付税基金からの繰入金、国庫支出金、分担金及び負担金、市債（借入金）が主なものです。（別表）

おもな事業の内容
を充実するもの。予算額は六、一九七万円。

清里地区のまちづくり交付金事業
北杜市が世界に誇る八ヶ岳高原の玄関口、清里の活性化をめざし、駅前および周辺の整備をはかる事業で、平成十七年度から五力年間で実施するもの。今年度の予算額は二億六五九万円で、道路の整備、用地の取得、建物の補強、撤去等を予定。

金田一春彦記念図書館の改修
故金田一春彦先生から寄贈された書籍・原稿・手紙などを展示するため、資料の整理と建物の内部改装を行い、図書館機能を

新エネルギー計画の策定



金田一春彦記念図書館

新エネルギー計画の策定
環境創造都市・北杜市にふさわしい持続可能、環境にやさしいクリーンエネルギーの導入、推進のためのビジョンを策定するもの。予算額は四七八万円。

指定校取り組み事業
予算額は三五四万円。

「ふれあい福祉ボランティア活動」明野小・中
「学びの意欲向上推進事業」武川小・高根中
「道徳教育推進事業」高根北小・小泉小
「エネルギー教育推進事業」泉中

17年度 一般会計補正予算

11億3,969万円を補正

(単位:万円、は減額)

科目	補正額	補正後の額	科目	補正額	補正後の額
地方交付税	1億2,694	97億2,694	議会費	209	2億3,043
分担金及び負担金	1億8,940	6億4,642	総務費	4億4,971	37億7,858
使用料及び手数料	49	5億6,884	民生費	322	46億2,197
国庫支出金	1億4,126	16億3,104	衛生費	1億0,355	29億6,270
県支出金	2,066	14億3,222	農林水産業費	6,831	27億3,406
財産収入	24	2,882	商工費	2,564	4億6,775
繰入金	3億0,000	20億9,580	土木費	3億7,092	34億4,208
諸収入	2,005	1億5,036	消防費	2,905	5億4,336
市債	3億4,210	42億5,780	教育費	8,716	38億1,186
歳入合計	11億3,969	270億8,969	歳出合計	11億3,969	270億8,969

特別会計補正

- 白州診療所特別会計
- 備品購入費
- 最新鋭のレントゲン設備の導入および既存設備の撤去費
- 白州尾白の森名水公園会計
- 武川ふるさと活性化事業
- 備品購入費
- 納豆製造機の購入費
- 浅尾原財産区会計
- 一般管理費
- 不法投棄撤去費
- 病院事業会計
- 病院事業費

条例

- 制定
- 行政改革推進委員会条例
- 行政改革の推進に関する重要事項を調査・審議するために委員会を設置する。
- 名誉市民条例
- 市民または、本市に縁故の深い者が、功績などが卓絶し、市民から郷土の誇りとして尊敬を受ける者に対し、名誉市民の称号等を贈る。
- 情報公開・個人情報保護審査会条例
- 杜市個人情報保護条例に規定する個人情報保護審査会について、調査・審議の迅速化と経費削減を図るため、両審査会を廃し、新たに北杜市情報公開・個人情報保護審査会を設置する。
- 改正
- 情報公開条例の一部改正
- 情報公開・個人情報保護審査会の設置並びに指定管理者の情報公開に関する事項を規定するための一部改正。
- 個人情報保護条例の一部改正
- 情報公開・個人情報保護審査会の設置並びに指定管理者に対する個人情報保護に関する事項を規定するための一部改正
- 市立保育園条例の一部改正
- 須玉保育園の建設に伴い、既存の四保育園（津金・若神子・穂足・多麻）を廃止。
- 簡易水道給水条例の一部改正
- 水道の使用開始等に伴う届出及び水道基本料金についての一部改正。
- 証紙条例の一部改正
- 一般廃棄物収集運搬業等の許可申請手数料・浄化槽清掃業の許可申請手数料を、証紙で徴収できる一部改正。

認定

- 廃止
- 市長職務執行者の給与及び旅費に関する条例の廃止
- 北杜市長職務執行者の職の廃止に伴い、条例を廃止する。

- 認定
- 市道路線の認定
- *県道の移管に伴う認定路線名 増富若神子線
- 起点 須玉町比志字下平
- 49328
- 終点 須玉町小尾字大柴
- 55352
- 幅員 6.00メートルから25.00メートル
- 延長 2,156.50メートル

議決

- 基盤整備促進事業
- 山梨県と事業計画の協議するための議決。
- 須玉町大蔵地区土地改良事業計画
- 農業用排水路他
- 用水路Ⅱ二七八メートル 測量
- 試験費他
- 事業費 一、一〇〇万円
- 受益面積 五・二ヘクタール



議場のようす

17年度 特別会計補正予算

(単位：万円)

会計名	補正額	補正後の額
白州診療所特別会計	1,260	1億1,511
白州尾白の森名水公園事業特別会計	795	5,135
武川ふるさと活性化事業特別会計	193	1億0,097
浅尾原財産区特別会計	85	6,814
病院事業会計	資本的収入	2,640
	資本的支出	2,643
		2億3,314
		2億4,625

6月定例会 会期日程

- 6月14日(火) 開会
- ・ 本会議
- ・ 諸報告
- ・ 会期の決定
- ・ 会議録署名議員の指名
- ・ 市長施政方針
- 6月15日(水)
- ・ 建設経済常任委員会
- 6月16日(木)
- ・ 文教厚生常任委員会
- 6月17日(金)
- ・ 総務常任委員会
- ・ 議員協議会
- 6月20日(月)
- ・ 本会議
- 6月21日(火)
- ・ 本会議(一般質問)
- 6月22日(水)
- ・ 本会議(一般質問)
- 6月23日(木)
- ・ 本会議
- 閉会

議員発議

地方議会制度の充実強化に関する意見書

地方公共六団体改革案の早期実現に関する意見書

義務教育費国庫負担制度を堅持し教育の機会均等及び水準の維持向上を求めるための意見書

国の関係機関へ提出した。

請願

介護保険制度の見直しの改正にあたり「改善」を求める請願

三月定例会より継続審査を行っていましたが、

訃報 日向万仁議員 急逝



北杜市議会議員日向万仁氏は七月十二日、急逝されました。

故日向万仁議員は平成十六年十一月に初当

選以来、九カ月在任し、北杜市・小淵沢町衛生組合議員、総務常任委員として活躍し、優れた識見と穏やかな人柄で、市政の推進に邁進し、多大の功績を残されました。

議員一同、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

衆議院を現時点で通過し、参議院も審査中である。国の方針が明らかでない。また、請願を提出した時点とでは、内容が変わっている。不採択

義務教育費国庫負担制度を堅持し教育の機会均等及び水準の維持向上を求めるための請願

地方自治法第99条の規定により各関係執行機関に意見書を提出します。全会一致で採択



おいしい給食ができますよ！

選挙

大内窪外巻字恩賜県有財産保護組合議会議員の選挙

- | | |
|-------|--------|
| 小泉 源紀 | 明野町三之藏 |
| 上野 幸人 | 明野町小笠原 |
| 滝口 忠雄 | 明野町小笠原 |
| 馬場 君忠 | 明野町上手 |
| 篠原 廣安 | 明野町上手 |
| 秋山 俊和 | 明野町上手 |
| 五味 良一 | 明野町上手 |

同意

大泉恩賜県有財産保護財産区管理委員会委員

- | | |
|-------|--------|
| 浅川 晃暉 | 大泉町西井出 |
| 浅川 良司 | 大泉町西井出 |
| 谷戸 昭一 | 大泉町谷戸 |

石堂山恩賜県有財産保護財産区管理委員会委員

- | | |
|-------|--------|
| 藤森 征雄 | 大泉町西井出 |
|-------|--------|

報告

平成十六年度

- | | |
|------------------------|-----|
| 一般会計繰越明許費繰越計算書 | 23件 |
| 一般会計事故繰越繰越計算書 | 6件 |
| 簡易水道事業特別会計事故繰越繰越計算書 | 2件 |
| 下水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書 | 3件 |
| 下水道事業特別会計事故繰越繰越計算書 | 1件 |
| 農業集落排水事業特別会計繰越明許費繰越計算書 | 1件 |
| 一般会計継続費繰越計算書 | 2件 |

議員の派遣

- 七月六日から七月八日の三日間県外において最終処分場の知識向上を図るための研修
- 八月十二日山梨県市議会議長会主催の市議会議員研修

委員会レポート

審議のあらまし

総務常任委員会

6月17日

専決処分の承認

・市税条例の一部改正

反対意見

定率減税の半減、高齢者の非課税廃止、大企業への優遇など、住民への押しつけには反対。賛成多数（反対一）で可決。

・一般会計補正
問 過疎対策事業債と、一般事業債の内訳、建物貸付収入の内訳は。

答 過疎対策事業債は七、七〇〇万円で、五地区で五五事業を進めている。

高根町農道、市道が主なもの。一般公共事業債は市債ではなく、長坂町の継続費で、執行も旧町額が確定したことによる補正。明野町のオートキヤンプ場は純利益の七割を貸付収入として受け入れる約束。

全員賛成で可決。



CATVの普及を

十六年度北杜市ケールテレビ事業特別会計補正予算

問 残り五地区で情報が早く伝わることを希望する。他の計画、調査は。

答 旧七町村を調査中。大泉、高根以外は民間が入っている場所があり、検討したい。

一般会計補正予算

問 総務管理費の需用費の説明は。

答 三三六万円のうち、

一〇〇万円は須玉支所の空調補修で、二三六万円は地域委員会や給食サービスの賄い費。

問 基本計画策定費の内訳は。

答 新エネルギー計画の策定費で、コンサル委託料、印刷費。

情報公開条例の一部改正

個人情報保護条例の一部改正

全会一致で可決。

文教厚生常任委員会

6月16日

一般会計補正予算

問 泉中の風力発電は、指定校事業の中に入っているか、内容は。各町で行われたマラソン大会は。

答 教育振興費三五四万円の中に入っている。風力発電はNPO法人と協議中。マラソン大会は今年度は見合わせる。

問 今年度一〇の公民館を改修予定ということだが、毎年継続するののか。補助金は。

答 毎年一〇館ほどの改修を予定している。補助

率は二分の一。

問 金田一春彦図書館の改修により、児童館が分離し、小学校の近くに移動するが、詳細説明を。

答 図書館には児童館は残り、放課後児童クラブだけが移動する。スタッフは現在のとおり三人で定める。

専決処分

・一般会計補正
問 火葬場建設の道路拡張の進捗状況は。

答 幅員現状四〇五メートル

七メートルに計画。八月二十五日の工期、九月一日の供用開始をめざし順調に進行し、現在七五％完成

問 委託料の四、七〇〇万円減の理由は。

答 ごみの量は年々増えており、実績払いなので、今年は多めに計上した結果の減額。

・十六年度下水道事業特別会計補正予算

問 旧町村ごとの、進捗率は。

答 十七年度末で、普及率、管渠接続率、合併浄化槽処理率は、明野八七・九九％、須玉七〇・六三％、高根七七・六三％、長坂九八・四一％、大泉七七・三七％、白州六四・七六％、武川四〇・六三％、平均七五・七三％。

接続率は、明野六八・〇九％、須玉五五・五％、高根六〇・九％、長坂八一・九％、大泉六八％、白州七〇・九％、武川七四・一％、平均六九％。

問 下水道費約三、〇〇〇万円の減額の理由は。

答 入札による差金です。



納豆で健康に！

- 文化財保護条例の一部改正
- 国保会計
- 老人保健会計
- 介護保険会計
- 簡易水道会計
- 下水道事業特別会計
- 農業集落排水特別会計
- 辺見診療所特別会計
- 温泉事業特別会計
- 居室介護支援事業特別会計
- 白州診療所特別会計
- 病院事業特別会計
- 市立保育園条例の一部改正
- 簡易水道給水条例の一部改正
- 証紙条例の一部改正

全会一致で可決。

建設経済常任委員会

6月15日

○一般会計補正予算
問 有害鳥獣駆除の補助の内容と、今後の展望は。
答 補助対象は電柵など。駆除は申請が出されてから、サルやイノシシは市長の許可、シカは知事許可が必要。サルは一頭一万円、イノシシは七千円が補助金。

○一般会計補正予算
土地開発事業特別会計
白州尾白の森名水公園事業特別会計
白州財産区特別会計
全会一致で可決。

武川ふるさと活性化事業特別会計

問 納豆生産機の使用年数は。購入の理由は。
答 五年使用で機械の中が錆び、修理費も高く、日数も必要なので新規購入の予定。

浅尾原財産区特別会計

問 予算の内容と、財産区の面積は。
答 財産運用収入一、四〇〇万円、使用料三、七〇〇万円。総面積は二一八㍓、山林は七五㍓、畑一六一㍓。不法投棄の処理は、長年処理できなかったガレキ、廃車など。

視察報告 廃棄物最終処分場を視察

新潟県出雲崎町 / 長野県小諸市



廃棄物最終処分場建設までの経過と、現状を詳しく理解し、知識を広めるため、七月六日、七日の日程で、財団法人のエコパークいずもさき（新潟県出雲崎町）と民間施設のイー・ステージ（長野県小諸市）を視察しました。（一般廃棄物・産業廃棄物の管理型最終処分場）
施設の安全性・最終処分場の遮水機能を常時監視するために、電気的な遮水機能診断システムを採用している。
現状や将来の安全性など厳しい視点にたった質問が出され、施設全般にわたり見学し、視察研修を終えました。

第2回 臨時議会

7月13日

議会推薦の

農業委員を決定

北社市農業委員の任期が七月十九日に満了するため、議会推薦による新しい農業委員四人を次のとおり選任しました。

- 矢崎二女子 須玉町
- 小尾 重一 長坂町
- 千野 憲治 大泉町
- 名取賢治郎 白州町

圃場整備地内の道路舗装は



ほか1件

浅川哲男議員

大泉町

問 大泉支所において、圃場整備地内の未舗装道路が十八路線、約三キロメートル残り、合併後において舗装することになっており、大泉町の場合には受益者住民の負担は大きく、舗装整備をしてきたが、受益者に負担を求めたことになると、今までやってきた行政に対し、不公平・不信感を持つ。市内各町の状況と今後の舗装計画は。

市長 市内各町の状況は、明野町を除いて六十四路

線、約十九キロメートル未舗装道路があり、今後は現地調査のうえ、順次舗装整備をしていくが、財政厳しい折なので、国・県の補助事業を取り入れるとともに、また受益者負担もお願いする。大泉町においては、過去に受益者負担もなく、舗装をしてきた経過があります。が、これからは北杜市という全体の中で、統一的な負担を求めなければならぬ。

道路敷用地等の未登記 早期解消を問 市内各町の道路・水路など、その敷地となっている用地の登記完了後に工事がされるべきだが、その登記がされないまま工事が終わっている箇所が多数ある。課税や相続の関係で地権者から苦情が聞かれる。未処理のもの新市に持ち込まれたが、未登記の現状と登記事務体制は。

市長 未登記は全部で約

三千筆あり、現在、建設部と産業観光部の用地管理担当六人が処理にあたり、各支所とも連携を取り、未登記の早期処理に向け、全力で努力していきたい。



未舗装道路の整備を

6月 定例会 一般質問

6月議会では23人の議員
が質問に立ちました。
これはその要約です。

行財政改革の重点は



古屋富藏議員

高根町

ほか2件

行財政改革 推進体制の中で

市長 本年度、市の行財政改革大綱を策定する協議の中で、改革の基本理念と改革の基本目標を定め、事務事業や組織機構の見直し、行政システム

問 施政方針で示した事務事業の効率化を図るための行政組織の改革、財政改革の重点目標は。また自主財源確保の一つであるミネラルウォーター税導入の見直しは。

市のシンボル ツリー制定は

問 環境日本一の北杜市の名称となったシンボル

の能率化、財政の健全化などを盛り込み、行財政改革大綱を策定する。ミネラルウォーター税導入については、県・市とも自主財源確保と自然環境を守るため導入を検討中である。県・市のダブル課税はないので、総合的に判断して導入を検討していく。

道路整備は

問 中央自動車道長坂高根IC上り線の狭い駐車場の整備と、通り抜けで

ツリー、「やまなしの木」の植栽計画が合併協議会だよりに掲載されたが、その取り組みは。市長 今後、小淵沢町との合併をふまえて、市の木・花・鳥などを制定したい。シンボルツリーも「やまなしの木」を含めて、本市にふさわしい樹木を検討していきたい。

駐車場の整備と 道路改良を

ふれあい支援農道は今年度高根工区の小池、県道八ヶ岳公園線まで二四

きる道路の改修は。また、ふれあい支援農道の箕輪、長坂まで六キロの計画のうち、高根町小池から西の整備は。市長 駐車場の整備・通り抜けできる道路の改良についても必要性は高く、今後土地所有者とも協議して整備を進めたい。

〇メートルを改良舗装、来年度は箕輪、須玉八ヶ岳公園線までを供用開始の予定。市長 長坂工区も鳩川から高根へ、〇四メートル、長坂中学校から西へ八九五メートルを新設予定。平成二十年度の全線開通を目指したい。

中山間地域等直接支払い 制度の成果は



林 泰彦議員

白州町

ほか1件

問 国は、平成十二年度から、中山間地域への直接支払い制度を実施した。ある集落では、山間地域で最も困っている鹿、猪、猿などの獣害に対し、電気網・柵の設置で防除に努め、耕作放棄水田の復活にこの制度を活用している。

市長 北杜市の旧各町村では荒廃農地の防止や農道・水路整備、担い手育成などに取り組み、平成十六年度現在、市全体で一七七協定、三億五、八〇〇万円が交付され、大きな成果を發揮している。次期の見直し対策では、集落の話し合い、将来計画の策定、共同取り組みにより、有利な交付金が得られるよう、全力で指導、支援を進める。



猪・鹿・猿の対策はどごとくめぐり

17年度水田農業 構造改革の進捗は

問 十七年度に県から市へ配分された水稲の生産数量九、八一トン、面積一、七六一ヘクタールの目標達成の見通しは。本市において米は主産地だが、生産者の高齢化などで生産目標に達しない実態ではないか。市長 生産量が昨年度より一〇〇トン、面積で三七ヘクタール増の配分を受け、明野、白州、武川

に増加配分した。三月の調査では大幅な目標割り込みも予想されたが、八月末には状況が分かる。今後は転作から水稲へギアチェンジし、生産組織の立ち上げ、担い手への農地の集積など水稲生産を強化するとともに、市場競争に勝てるブランド米の確立に全力を尽くしたい。

市内幹線道路の整備促進を



ほか1件

植松一雄議員

白州町



老朽化して狭い花水橋

問 昨年の定例議会でも、県道台ヶ原長坂線は県の理解をいただき、国道20

号から花水橋間は近々発注の予定との答弁であった。この区間は平成十五年間に概略および詳細設計説明会があり、県の要請に住宅移転対象者を含む地権者二十四名も協力の意向。以後一年半経過するも進捗がないため、振興局道路課で確認したところ、整備計画に中止を含む大幅な後退が伺われた。移転対象者は代替住宅のめども立たずに非常に困惑している。

この路線は白州と長坂

県に強く要請する

を結ぶ幹線道路で、その改修は白州地区の発展と交流に不可欠である。当初の予定通り速やかに実施すべく市内幹線道路の整備と併せ、主官庁への強い要望を。

市長 道路整備は地域の活性化には欠かせない。この区間の整備は地元説明会も二回実施されているが、県の財政状況が厳しいため、工法の検討でコスト削減を図るよう見

有害鳥獣対策の進捗状況は

直しを行っているのとこのところである。このルートは私の県議時代からの課題でもあり、早期実現を目指して県に強く要請する。

問 三月定例議会でも、北

杜市有害鳥獣対策協議会の設立と、有害鳥獣駆除実施要綱の策定を提言したが、県の関係機関と市町村で、峡北地区農産物鳥獣被害防止対策会議を立ち上げたので、その動

協議会の準備に入る

向を見るとの回答を得た。今年も被害が拡大しているので、その進捗状況を伺う。

市長 今年度十一地区から捕獲依頼があり、猟友会に依頼した。四地区での電気柵を予定している。県の生態調査も行う。県の対策会議だけでは不十分なので、仮称ではあるが、北杜市有害鳥獣対策協議会を早期に立ち上げるよう準備に入る。

少子化対策に不妊治療支援を



ほか1件

渡邊英子議員

長坂町

問 山梨県は出生者数で全国で下から二番目の少なさ、北杜市も平成十六年度の出生数はわずか二五〇人、市長も少子化対策を重要な政策課題に挙げています。子供をほしくても不妊で生めず、そのことを公にもできず悩んでいる方も多い。体外受精には保険も適用されず、多額の費用を要する。北杜市の次世代育成支援対策で、出産に対する支援体制の充実が明示されたが、不妊治療の費用助成

保険適用も要請

や、相談窓口の開設が早急に必要なと考えるが。

市長 少子化はまさに国家とふるさとの存亡の危機である。北杜市で不妊に悩む方は約五〇人と推定され、保健師が相談を受け、県の不妊相談センターにも紹介をしている。北杜市では平成二十一年度までに不妊専門相談窓口を設置する計画である。市単独の不妊治療費の助成も検討したい。国・

支所機能の充実を

県には治療が保険の対象となるよう要望していく。

問 合併して住民サービスが低下したという市民の声が多い。四月の人事異動で支所から職員を本庁に吸い上げたが、ますますのサービス低下にならないか。事務内容によっては支所にある程度権限を下ろし、身近なサービスの充実を。

あるのは残念だ。総合支所と本庁の連携、情報の共有を徹底し、不足が生じないよう住民の目線に立って改善に努めたい。支所のあり方についても、行財政改革の中で検討を重ねていきたい。



元気な子どもたち！

北杜市山岳救助隊結成は



渡邊陽一議員

白州町

問 北杜市は甲斐駒ヶ岳、八ヶ岳、茅ヶ岳など山岳に囲まれた地であり、毎年山岳遭難事故が発生している。現在、長坂警察署管内では山岳会員、ボランティアを中心とした山岳救助隊が結成されて活動しており、旧白州町では役場職員が救助隊を編成して救助活動に協力。南アルプス市でも職員による山岳救助隊が活動している。また全国の山岳会では、中越や長崎の震災に隊員を派遣して、支

援に大きな成果を挙げたと聞いている。北杜市も職員で救助隊を結成し、定期的な訓練を実施し、山岳救助のみならず災害救援の対応を。警察、民間、行政三位一体で

市長 現在、県山岳遭難救助対策協議会の葦崎支部と長坂支部が組織され、地元山岳会のメンバー等により山岳救助隊が結成されており、遭難事故の時は警察署の要請により

市長 山岳救助隊は、専門的な知識経験、定期的な訓練が必要であり、市職員のみでの編成は不可能である。長坂支部の山岳救助隊は四十七人だが、うち本市の職員は十一人である。市職員もできるだけ多く参加するよう、検討していきたい。



安全な山登りを

地産地消施設の管理運営は



小林元久議員

長坂町

問 農業・農村を取り巻く状況は厳しいが、その中で明るい話題は農産物の地産地消施設、「フアーマーズ・マーケット」である。農家も消費者も喜び、地域活性化になっている。直売所を核に、郷土料理の提供、農産物の加工施設など、生産者と消費者の地域連携が成り立ち、他の地区からも人が集まり、地域経済に波及効果をもたらす。

本市には旧七町村から引き継いだ地産地消施設が四〇カ所以上あり、その運営形態も様々である。今後、指定管理者制度の導入により、各施設ごとに行財政改革のなかで検

討していくことと思われるが。市長はすべての施設をゼロから見直すとして述べているが、財源確保を第一

に一元化、統一した適正な運営が必要である。施設の使用料、借地料については大きな差額があり、低料金で統一すべきだが。地産地消活動の推進会議設置は、また販売施設の健全運営と地域農業の育成は。

指定管理者に
向け検討中

市長 地産地消推進の効果の評価している。販売施設十五カ所のみでなく

公の施設全部について、指定管理者制度導入に向けて精査している。地産地消の関係者による組織を早急に設立し、地域全体で連帯感を持ち、取り組む体制づくりをしたい。施設は独立採算で健全経営できるよう、研修により経営感覚を身に付け、認定農業者を核に、農業経営の改善を進めたい。使用料の統一、借地料等は不動産鑑定も入れて公平化するように検討したい。



とても新鮮な野菜！おいしそう...

行財政改革の早期取り組みは



ほか1件

中嶋 新議員

高根町

問 本年度、行財政改革アクションプランを策定するが、本市の現況は、今回の補正を含め市債残高四〇五億七千万円、市民一人あたり約九三万円であり、県内各市平均の二倍以上に達している。また行政区長、消防団部長の数などは、七地区で大きな不均衡、不公平が生じている。そこで市長の考える健全な行財政の数字的バランスとは、本年度実施可能な改革は、プラン策定の手法とタイ

ムスケジュール、担当部署は、また、市長の諮問機関である行革推進委員会の役目は。



行革調整室

プラン策定は十八年三月までに

市長 健全な財政指標は、経常収支比率八十%未満、起債制限比率十%以内と考える。推進体制は私を本部長とする推進本部が学識経験者等で構成する推進委員会の意見や助言をいただきながら推進する。プランは来年二月までに策定、三月議会に報告し、市民にお知らせする予定であり、その後の現場で具現化できるよう

備えていきたい。担当は行革推進室。本部長は各部長、支所長の二十二二人、幹事会は課長二十三人、推進委員会は十人で構成する。行政区の再編、消防組織の再編も積極的に検討していく。

上下水道審議会を立ち上げ検討実施へ

上下水道料金の統一は

問 簡易水道、下水道、農集排水の料金統一に時間を要する理由、調整の方向、統一の時期、下水道審議会の審議の状況は

市長 合併による給水域再編が必要、また、小淵沢町との合併もふまえて段階的に進める。公営企業法による上下水道の経営と、独立採算の財政計画も必要になる。

今後、上下水道審議会を早期に立ち上げて方向を見出したい。

須玉・長坂ICに「北杜」の市名を



ほか2件

風間利子議員

武川町

問 県外には北杜市がどこにあるのか知らない人が多い。観光資源ネットワークの推進のためには、まず市内の中央道のインター名にそれぞれ「北杜」をつけ、「北杜須玉インター」「北杜長坂インター」とすることが必要と思う。来春の小淵沢町との合併もふくめ、今のうちから道路公団など、関係機関に要請を。

積極的に働きかける

市長 市の知名度アップのためには必要なことである。道路公団もインターへの誘導看板は合併後の市町村名に変更すると聞いている。インター名の変更は簡単ではないと思うが、関係機関に積極的に働きかけたい。

農業後継者対策を

問 農業者の高齢化、後継者不足で農業の将来が不安。甲斐市が募集した

滞在型市民農園には、首都圏から二倍以上の申し込みがあり、田畑がなくとも農業に従事する「自産自消」も広がっていくのではないかと思う。

指導農業士・青年農業者による観光と農業、地産地消の振興、担い手育成などの取り組みは。

市長 長坂で発足している農業法人「長坂ファーム組合」のように、農地を集積し、農作業を受託する組織を各町で立ち上げる準備をしている。



やってみれば楽しいネ!

森林の環境整備を

問 地球温暖化防止のためにも、森林の環境整備が急務である。武川町「みどり制定記念の杜」の整備も含めて、里山環境整備調査と計画の現況は。

市長 十八年度からの事業実施は困難であり、今年度から山林所有者の理解を得ながら、できるところから計画を立て、十八年度には国・県へ計画を上げ、十九年度から着手したいと考えている。

須玉町地内の 道路整備計画は



坂本 静議員

須玉町

問 市道、若神子境ノ沢線と主要地方道茅野小淵沢葦崎線の取り付け箇所付近は、境ノ沢地内への西側より唯一の進入路であるが、道幅が四・五メートルと極めて狭く大変危険である。早急な拡幅工事が必要だが、

市長 主要地方道茅野小淵沢葦崎線は平成十五年度から施工している。現在境ノ沢地区の県道出入口の工事を行っており、北杜市主要道路整備計画の中に、延長三百五十メートルの拡幅工事が予定されている。

問 川又公民館から前村上地内までの拡幅工事は、平成八年度より計画実施され、現在四百メートルは工事が終了しているが、残りの拡幅工事の状況は、

市長 平成十五年度までに県の峡北地域振興局建設部が約二百メートルを農務部が二百メートルをそれぞれ八ヶ岳広域農道

問 主要地方道葦崎増富線の江草発電所北側に、急カーブで道幅が狭い所がある。この道路は増富温泉郷に通じる主要な道路であり、大変危険が生じているので、早急な改良整備を。

太陽熱のクリーンエネルギー 活用に補助制度を

ほか1件



秋山九一議員

長坂町

問 北杜市では水力発電が話題に挙がり、また日照日本一の明野をはじめ、太陽エネルギーの活用が進んでいる東京都や、県内の富士吉田市など、いち早く導入しているが、環境のことも考え、家庭用ソーラー機器設置に市の補助制度を。

市長 日照日本一を誇る北杜市は、太陽熱のクリーンエネルギー利用の最適地である。三月には首相秘書官に会い、首相も太陽光発電には大きな関心を持っていると聞いた。六月には資源エネルギー庁へ陳情、また京セラ本社を訪れ、日照日本一の北杜市をアピールした。国、県などと連携をとり補助制度導入を検討していきたい。

問 北杜市は杜の都で、数々の名山を擁し、多数の登山客やハイカーが訪れている。その反面遭難事故も起きており、登山道などの整備が望まれる。

市長 安全で快適な登山道の整備、観光案内やキャンペーンにも努力していきたい。



自然エネルギーの活用を

植樹祭のあり方は



岡野 淳議員

大泉町

問 五月十八日に明野町内で行われた植樹祭のあり方について。

市長 周辺の植層調査を行い、在来樹種の把握をしたのか、調査結果を提示し、今回植樹した樹種と本数、その樹種の選定ならびに根拠、購入先、植樹祭に要した経費は。

植樹に際しては現地に自生している樹種を選んで植えるべきだと思うが。

苗木は県からの無料配布

市長 今回の植樹祭会場周辺の樹種はクヌギ、コナラ、アカマツ、カラマツが主体である。

植樹した樹種はコブシ三〇本、イロハカエデ一〇本、イチヨウ三〇本、ケヤキ六〇本、ムクゲ二〇〇本で、現地は将来公園化の予定地であり、県から無料配布された樹種から選定した。植樹祭に要した経費は

参加者約三〇〇人分の食費二十一万円で、開催市町が負担することになっている。今後、鶏舎跡地は解体処分後に周辺の植生に合わせた樹種を選定し、森に戻していくつもりである。

問 木を植えるのであれば、水が必要であるのに用意されていないが。

北杜市としては無償でも、県が負担していればこれも税金である。税金のかかった苗木を、一本たりとも枯らさないとい

う工夫が必要なのでは。市長 峡北地区の植樹祭は、伝統的に山と里で一

年交代で行っている。山で行う植樹では水をやるというのは現実的でない。



北杜のもりを大切に...

漁業権を借りて市の財源確保は



鈴木孝男議員

武川町

ほか2件

問 大武川の駒城橋から白州町の大坊砂防ダムまでの間、四キロの漁業権を漁業組合から借り受け、魚影を濃くし、四千円くらいの日釣り券をフレンジパークや、地元商店で販売し、一千万円くらいを目標にすれば自主財源につながるのでは。

市長 県に照会したところ、県内にはないが、釣堀と同じように、市町村と漁業組合の協議により、河川管理者の同意を得れば可能である。

松くい虫防除対策は

漁業権の借り受けにかかる費用、魚の放流の費用、販売の人件費などの経費に対して、釣り券の収入がどのくらい見込めるか分からないので、検討させていただきたい。漁協の組合長をした経験から言うと、これで市の自主財源を得るのは大変である。

問 市道沿いの松の枯れ木、除去は地主の責任だというのが、管理は今のま

松くい虫被害の樹木は、補助対策地域内で所有者の承諾があれば、予算の範囲で緊急箇所から随時実施できるが、不在地主が多く難しい。

樹種転換には国、県で七割の補助があり、市としても助成を検討したい。環境的には広葉樹、針葉

樹の複層林が求められている。問 真原の桜満開時の交通渋滞の打開策は。市長 「山高神代桜と真原の桜」の花見客で、道路の渋滞を招いている。広域農道沿いに農村景観形成事業により、駐車場を備えた広場を配置したい。



我が里山を守れ

教職員の資質向上に授業公開と評価制度は



浅川富士夫議員

大泉町

ほか1件



先生と楽しく

問 学力低下の批判、総合学習やゆとり教育の見直し等、学校教育の課題は多いが北杜市の現状は学力のレベルは、ゆとり教育「北杜市の「原っぱ教育」と、基礎

学力の向上を両立させる
具休策は。
教職員の資質向上のため、授業の公開を積極的に進める考えは。
外部の有識者も加えた教職員の能力評価、それに連動した報酬等のシステムづくりは。
県の「学び意欲向上」推進事業の北杜市の指定校と活用方法は。
評価制度は
十八年度本格実施へ
教育長 北杜市の小・

中学校生徒の学力は、全国レベルにある。
新学習指導要領に基づき、基本的な内容継続性を重視した学習計画、効果的な授業により生まれたいゆりの時間を、総合学習や少人数学習の指導に充て、生きる力の育成を図っている。
校長、教頭による授業の指導。保護者のみならず、地域の皆さまにも参加を呼びかけ、授業の公開、学校の開放に取り組んでいる。

県教委が研究会で今年度中に教員の評価制度の試行案を策定し、十八年度から本格実施と聞いている。
高根中、武川小が指定を受けた公開授業、発表会を通じ普及・啓発していく。
ペイオフに
どう対応するのか
問 ペイオフ実施により、公金を安全確保するため、金融機関の選定と健全性の調査は。また、全額保

障される決済預金の活用状況は。
収入役 金融機関の自己資本比率四%以上が基準であり、現在の指定金融機関である山梨中銀他、四金融機関とも調査により健全性を確認している。
決算預金は元本保障だが、無利子であり活用していない。今後ペイオフは問題調査研究会等で検討する。

地域ブランドの育成に支援は



細田哲郎議員

白州町

ほか1件

問 地域の特色を生かしたブランドの確立は、市場経済の重要戦略であり、北杜市の誕生は地域ブランドづくりの好機である。市の建設計画にある環境保全型農業の推進による、ブランド農業確立の具体策を聞きたい。
新たな魅力ある地域ブランドを育成し、市場経済につなげる道筋をどう構築し、支援していくか。
地域ブランドのイメージ向上は成功の条件である。

る。新鮮なイメージをどう情報発信していくのか。
米の北杜ブランド
確立へ
市長 安全・安心な農畜産物を供給するため、農林水産省の特別栽培農産物の認証取得の準備を進めている。来年一月作付けの水稲、大豆、トマト、きゅうりなど一七品目を予定している。
北杜市として誇れる、本物で、かつ売れるブランドとして、一、七〇〇

ヘクタール生産している米のブランド化を考えた。平成二十年から米の管理が民間に移行するのを機に、売れる米づくりの支援策を、地域の実情を見据えて講じていく。
地産地消施設でのPR、パンフレットをはじめホームページの活用、観光宣伝などを通じて積極的にイメージ発信をしていきたい。

ボランティア活動
育成支援を
問 支援センターの設置と、学校での体験実習推進を。
市長 総務部地域創造課に、総合支援窓口を設置したい。
教育長 二一校それぞれに特色あるボランティア活動を実施している。明野小・中は推進校に指定され、実績を挙げている。これからも一生懸命努力したい。



ほかたち、わたしたちの町をきれいにします！

指定管理者制度の導入の方法は



内田俊彦議員

須玉町

問 平成十八年九月までに、指定管理者制度の導入を迫られているが、北杜市の二七三公共施設の指定管理について導入時期とタイムスケジュールは

答 指定管理により軽減される財政負担の金額はいくつの施設に導入するのか

行政アクションプランの中に盛り込まれるのか

行財政改革本部が推進するのか

多数の民間企業や団体が参入を希望する場合の選定方法は

公募、選定はどの機関とするのか

指定を受けた施設の運営がうまくいかず、住民サービスの低下、管理の不備等が顕著に現れた場合の対応は。

来年度から指定管理者制度を導入

市長 平成十八年四月一日からの導入を予定している。導入施設の検討を本年八月をめどに行い、

九月定例議会で条例の見直し、十月から十一月にかけて指定管理者の公募選考、十二月議会で議決を経て、来年一月以降協定の締結、四月からの開始を予定している。

施設の数および財政負担軽減の金額は、現時点では明らかでない。

行政アクションプランの中に盛り込む。

行財政改革推進本部が推進する。

行財政改革推進委員会とは別に、選定組織を



おととと！

設置する。公募の方法は市広報、ホームページ等を活用。事業効果の判断により、公募によらず選定ができる。

管理者に適切な指示を行い、従わない時は指定の取り消し、期間を定めて一部停止を命ずることができる。

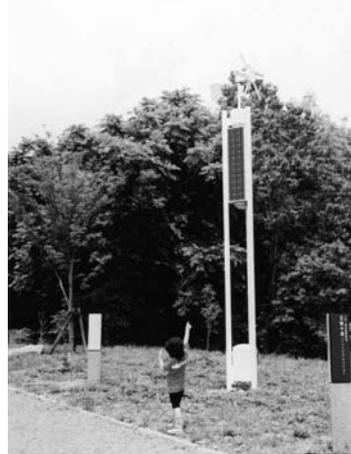
国際規格ISO 14000の認定取得を



五味良一議員

明野町

問 今地球を取り巻く環境問題が大きな問題となっている。環境の国際標準であるISO14000は自治体、民間企業が多数認定取得しており、県および一部の市町村でも取得し、運用している。峡北地域では、近く北杜市と合併する小淵沢町が、平成十二年に認定を受



太陽の光いっぱいだね

けたが、今回合併のため三年ごとの認定更新をしないということは残念に思う。北杜市としてISO14000認定取得の予定があるかどうか。また伊那市のようにISO

を認定取得しなくても、市として基準と目標を掲げ、市民全体で、目的達成に向けがんばっている市もある。

また、取得を目指すなら、それなりに専門の分野を設け、職員も複数専属が必要になると思う。市全体としても、本腰を入れ、取り組む覚悟が必要だが。

来年三月以降に取得に向け検討

市長 地球温暖化、オゾン

ン層の破壊、資源の枯渇など、私たちの暮らす地球はさまざまな打撃を受けており、地球環境を保全することは、世界共通の課題となっている。

21世紀は環境の時代と言われる中で、大量生産、大量消費、大量廃棄を前提としたライフスタイルや、社会構造を資源循環型に改め、資源エネルギーの節減と、環境への負荷を最小限に抑制することが求められている。

現在北杜市は、休息時

間中の消灯をはじめ節電、用紙のリサイクルや低公害車の導入、廃食物油を利用したバイオディーゼルなど、できる限りの環境保全策を講じている。

来年の三月に小淵沢を加えた新北杜市が誕生するので、組織や機構、人的体制も見極めながら、取得に向けて検討していきたい。

廃止された福祉サービスの復活は

ほか5件



中村隆一議員

長坂町

問 合併前に行われていた、独り暮らし世帯の安否確認サービスなどが廃止されたが、全市での復活は。

市長 緊急通報装置システムの活用と、長寿者クラブに委託した友愛訪問事業で対応している。

問 原油の高騰で花卉栽培のハウス農家は経費増に苦しんでいる。重油代の補助、無利子融資、国税の減免などを求める。市長 原油高騰による影響は広範囲であり、実情

は分かるが、市単独の支援は難しい。国保税減免は生活が著しく困難になった場合に適用される。

問 介護保険の改悪で、施設や通所の食事が全額自己負担となり、障害者自立支援法でも、自己負担が重くなる内容だ。市独自の利用料減免と、この二法案の撤回を国に求めることを求める。

市長 国会で十分な審議が尽くされるよう願っている。成立後は制度の内容を市民に周知し、市の

いつまでも健康第一で！



福祉計画の中に反映していきたい。

問 市の個人住宅の耐震診断は、今年度二〇戸であまりにも少ない。耐震工事にも、市の補助を求め。

市長 今後市民への周知を図り、本年度中に要望を把握し、耐震化事業を促進する。改修補助については、県とも協議しながら進めたい。

問 県が示した明野の処分場三カ所はいずれも適地とは言えない。明野ありきでなく、白紙に戻すべきだ。

市長 三カ所について専門のコンサルタントにより調査が行われている。検討委員会の決議に沿って、地元の理解が得られるよう努力していく。

問 「非核平和都市」宣言と、平和事業の展開を求める。

市長 「非核平和都市」宣言は議会とも協議して進める。平和は全市民の願いであり、他の自治体の状況も参考に検討する。

行財政改革の目標は

ほか2件



保坂多枝子議員

高根町

問 行財政改革の推進プランは、何年間を目標とするか。施設利用や活用度の基準、人事配置の主な観点、項目のアウトラインは。

市長 平成十八年度から二十二年度までの五カ年計画で、施設の活用を考慮した上で、項目毎に策定する。

問 生産性のある施設や図書館・資料館のような文化施設、温泉等住民サービスに関する施設など、費用対効果のみで図れない部分の基準は。

所管が異なる類似事業は、相互の連携を図って円滑な運営を。

市長 単一的な費用対効果論ではない策定プランを検討する。

文化財保護審議委員の機能は

問 文化財の調査、発掘保存には専門知識が必要である。方法によっては町おこしや観光政策として考えられるが、審議委員はどのような立場にあ

り、その関わり方は。

市長 委嘱された七名の委員は、教育委員会の諮問機関として、有・無形文化財や民俗文化財、天然記念物の指定、解除、保存、利用の調査、審議答申をする。

問 市民の知恵を生かすために、委員も調査・研究に関わっては。

市長 審議会の専門委員会に反映したい。

身体障害者の施設整備を

問 峡北地区には、重度の身体障害者施設がなく、若年障害者の介護や障害の重度化、保護者の高齢化が進み、施設の空きを待つっており、早急な検討が望まれるが。

市長 民間施設の建設計画を歓迎し、県と協議の上、検討する。



あと少しでゴール

財政健全化の目標は



小林忠雄議員

須玉町

ほか1件

問 今年度の市債発行予定額は三十九億円、返済は四十四億円で、年度末残高は四百二億円になり、市債の増加により、十九年度が返済のピークという説明だった。地方分権の進展は、自主財源の確保につきると思うが、新たな増税は困難であり、財政確保に向けた施策は、また、市債の残高がどのくらいになれば、健全財政といえるのか。

市債の抑制、歳出の縮減に努める
市長 国に対し、税源の移譲、地方交付税総額の確保を求める一方、市としては滞納整理はもちろんで、企業誘致による雇用と税収の拡大を図っていかなければならない。市債残高のみで財政の健全化を図ることは難しいが、旧七町村時代を含め、市債は交付税で補填される有利なものが多い。十五年度の財政指数で起債制

問 旧町村から引き継いだ諸施設見直しの手法は

答 旧町村から引き継いだ諸施設は二百七十三施設あり、市長はすべての施設をゼロから見直す決意を述べているが、見直し評価の手法、市民の理解を得る方法は、市長必



アイデアいっぱい 施設活動を

推進本部で取り組んでいく。その内容や方向性は、広報誌やホームページで随時公開し、市民の理解を得ていきたい。

県の廃棄物処分場の新たな適地選考のあり方は



篠原眞清議員

明野町

問 明野町民は、旧明野村浅尾地内への建設計画には同意しておらず、県が現計画にこだわっている限り、解決への道は開かれない。浅尾での計画をやめ、旧明野村地内に新たな適地を見出すことで解決を図ってきた。北杜市水資源の確保と保護に関する条例に基づく水資源保護地域の指定がまだなされていないまま、三力所の候補地が調査対象とされている。候補地とされた三力所

のうち、旧光の楽園は水源であり、他の一力所も水源の隣接地である。このような候補地絞り込みには、町民からも疑問の声が寄せられている。本事業実施には地元の同意が必要だが、北杜市議会は検討委員会に対し、地元明野町民に対する経過説明を申し入れた。市長は地元の同意をどう考えるか、経過説明を行う考えは。

水源への配慮はされている。七月五日に説明会を開催

と考える。コンサルタントの調査結果をふまえて、候補地の三力所、光の楽園跡地の自家用井戸等への影響についても、詳細な検討を進めていく。県は七月五日に、地元の市議、区長を中心に、傍聴を認めながら明野町の説明会をする予定である。市としても今議会のあと、地域委員会を開催し、市の全地域に向けての説明を求める予定である。



県と議会との意見交換会

グリーン電力発電日本一の市を目指せ

ほか3件



千野秀一議員

大泉町

問 グリーン電力は、環境を汚さない太陽光・水力・風力・バイオガス発電の総称で、京都議定書で決まったCO₂削減計画を達成するためにも必要である。「日照日本一の北杜市」が個人でも取り組める太陽光発電で、日本一の大発電所となることも、夢ではない。このため、

市の施設、市有地、空き工業団地等を民間に貸し出す考えは、市は率先してグリーン

電力に加入し、施設建設に協力すべきと思うが。市内のグリーン発電者に助成し、余剰電力の証券代に協力する考えは。

新エネルギービジョンで取り組む
市長 北杜市新エネルギービジョンを策定中であり、グリーン電力を前向きに検討したい。

市民の要望は

問 合併後七カ月、住民からの要望・意見・苦情

に、どう対処してきたか市長 多種多様な要望の中で、防犯灯・カーブミラー修理、集会施設の改修には、早速対応した。予算を伴うものは緊急性・重要性により対応していく。市のホームページに「市長への手紙」を開設し、要望に応える。

地域委員会は
問 市民は支所機能の縮小に危惧し、地域委員会に期待を大きくしているが、その権限からみても、



地域の声に期待して...

民意反映に期待

市長 本年度予算に各委員会ごとの予算を計上し

まだ十分な機能を発揮しているか疑問である。
問 温泉回数券は市内、市外とも、切り離し無効となっているが、市外利用者・市内宿泊業者の客へのサービスの際、不便を感じている。改善は、

切り離し認める方向

臨時・嘱託職員の労働条件は



小尾直知議員

長坂町

問 合併に伴う予算抑制策の一環として、三〇〇名ほどの臨時、嘱託職員の賃金および一時金の減額を進めたが、正職員と同等の能力や資格等を考慮し、賃金や一時金を決めるべきである。

臨時、嘱託職員も、正職員と変わらぬ意識で業務に従事している。この件については、新聞紙上でも三回ほど取り上げられており、市長の言う合併してよかつたと、実感できる環境創造都市

の実現とは、あまりにかけ離れていると思われる。行政の根幹をなすのは人であり、やる気や意欲を引き出すのは市長のリーダーシップである。この背景を考え、五点について伺う。

格差是正のため調整した
市長 合併前は各町村の賃金体系で雇用してきたが、格差是正のため今年四月に不均衡のないよう調整した。

臨時職員は六カ月ごと、嘱託職員は一年ごとの再雇用となる。総務部長 正職員は一〇年間で一二四人の削減計画である。



丁寧な対応を

声のひろば

koe no hiroba

北杜市議会だよりでは、毎回市民のご意見・ご要望などさまざまな『声』を掲載してまいります。今回は7名に執筆していただきました。これからも投稿をお待ちしております。



プール楽しい!

市政に望む



白州町 箕輪 勝

明野のひまわり畑や尾白の森名水公園などで撮影された「いま・会いにゆきます」が話題になってきているようです。私も、自然豊かな甲斐駒の麓で剣道場を開いて十七年になります。三年前山田洋次監督の「たそがれ清兵衛」に続き「隠し剣鬼の爪」の剣術指導で地方のロケ地を巡りました折、北杜市でも自然景観と、歴史ある建物の保存をする必要があると感じました。そのため予算化も必要であると思います。また、フィルム・コミッションの早急な立ち上げが望まれます。

次に、今年度から行政改革推進室が設けられたとのことですが、二七〇あまりの公共施設の整備などで、無駄な支出を防いで、市民が本来に必要とする福祉サービスと、教育面での後退がないように、また、住民参加が実感できるような市政運営を強く望みます。

野球を通じて 青少年健全育成を



高根町 浅川良一

今まで、北杜市内の中学校野球では軟式野球しかなく、クラブチームもありませんでした。硬式野球をするには高校まで待たなくてはできない環境でした。早く硬式ボールに馴れることも含め、ぜひ北杜市にも本格的な硬式野球チームが欲しいとの思いから、今年、日本少年野球連盟ポイズリーグに加盟し、「北杜ポイズ」と名づけ、誕生しました。

高根町総合グラウンドを主な練習場として、平日はナイター、土日は朝から夕方まで楽しく、真剣に練習をしています。チームが目指すのは野球を愛好する少年づくり、正しい野球のあり方を指導し、野球を通じて心身の練磨、スポーツマンらしく規律、礼儀を重んじる明朗な社会人としての基礎を養成し、次代を担う少年の健全育成をはかることです。

北杜市全域を対象とした「北杜ポイズ」の活動を、少年の健全育成のためにも、市民の皆様、行政の方々も温かく見守って下さい。

北杜市の財産は自然です



明野町 伊藤花子

先日、紙面で、こんな言葉を読みました。
「人間は、科学、技術を頼りに、自然界に歯向かって今日まで来ている。」
私は、塩川沿岸に住み四季折々の川の移ろいを楽しみ、自ら自然の尊さを実感しています。そんな豊かな川も近ごろでは一雨で一変します。土を含んだ真つ黒の水が荒れ狂う様を見て不吉がよぎります。

北陸、新潟地方の惨状が目前にあるのです。北陸、新潟地方の惨状が目前にあるのです。急激に増水する川、その根源はどこにあるのでしょうか。

県下一の景観に恵まれた北杜市、これこそ市民の誇りです。

やむを得ず開発というときも、その将来と、また、下流の人々を視野に入れ、十分に追及することを望みます。安心して生活できる郷土、北杜市の発展を願うものです。

地域委員会の活動に期待して



長坂町 田中阿ぐり

七町村の個性と、おのおのの誇れる資源を持ち合わせて、山梨県で最も面積の大きい北杜市が昨年の十一月に誕生して、九月月を迎えますが、私はこの悠久な大地の韻（ひびき）をもった北杜市の市名は大好きです。

さて、ここにまちづくり基本方針を実現するために多くの施策や、立ちどころの課題解決に向けて、いくつかの専門分野の組織が構成されました。その中で地域委員会の設立は新鮮さとして強い力を感じました。七町から広い学識経験をもった各二十名の委員で構成され、北杜市の均衡ある発展と住民福祉の向上を活動目標に示されています。広い地域になりますと遠隔地の存在は当然です。四万四千人余りの市民一人ひとりのメッセージが活かされるためには、統一化やマニュアル化ではなく、地域の実態に即した行政拠点を創っていくことが必要かと思えます。

地域に密着した、市政モニター機能を発揮していただき、住みよい北杜市の生活拠点づくりを期待いたします。

男女(とも)に参画できる市を



須玉町 篠原愛子

男女共同参画基本法が施行され、須玉町でも、「男女(とも)に歩むまちすたまプラン」を策定、推進が始まりフォーラム開催から一年が経過しました。住民の意識はどのように変わったでしょうか。

策定・推進に携わり改めて地域を觀てみると、女性が参画する機会はまだまだ少なく、女性たちも「女だから」と尻ごんでしまっています。

今のままでは社会は変わらないと思えます。

女性があらゆる分野に参画していくことが必要だと思えます。

女性のエンパワーメントの高揚が必要だと思えます。

そして女性の生の声を市政に届け、男女(とも)に歩む市(まち)・自分らしく生きるまち、北杜市になることを望みます。

福祉とはより良く生きること



大泉町 高橋 熙

新市は短期間だが議会審議に専念の様子が「便り」から熱く読み取られ頼もしい限りである。

教育文化に輝く杜づくりを第一に挙げ、少子高齢化社会の課題は山積だが、日本は世界一早く短期間二十五年で突入し、いま過渡期で今後も激しい議論が長く続くだろう。

北杜市は自然と水と太陽のもとで、幼児も子供も成人も高齢者も、心豊かに暮らせる素晴らしい環境を備えている。その資産を継承し知恵を絞り新創造都市を築くことができよう。

高齢者も自立共生の時代が始まっているのは喜ばしいことである。

いま幼、子、成、高の住民すべて、より良く生きるため、バランスシート感覚で福祉再構築が求められる新時代だろう。

介護者にも光を!



武川町 功刀三恵子

高齢化社会の中で施設にも入れず、親兄弟が介護する人が増え続けています。昔は認知症や障害を抱える人は外出もせず、家に閉じこもり人目を避ける気配がありました。

私は雄大な大自然の中を、自由に徘徊する義母と一緒に歩きました。老いは誰にでも平等に訪れる。恥でなく現実と向きあい地域で共有したかった。

介護生活当時は余裕などなく必死でした。現在、高齢者の残存能力を生かして自立支援に向けての開発が進められています。介護者には何の対策もない社会に疑問を感じます。

ストレスをためず、明るく健康的な介護をめざすためにも、行政でリフレッシュできるような企画で、介護開放日のような取り組みを考え、「任せて安心介護」の町づくりができれば、素敵だろうと思えます。



北杜市ウォッチング



ほくと議会だより Vol.3
HOKUTO GIKAI DAYORI



見るもたじ、作るもたじ。

いま北杜がアツインです！



見て！ブルーベリーだよ！



お母さんのひざ あったか〜い

編集後記

高原の郷に花が咲き、人が集い、さわやかな風が吹き抜ける夏です。

は、行財政改革の第一歩を踏み出した、六月議会の様子を掲載いたしました。

今議会も市民の代弁者として二三人の議員が市政について一般質問をしました。健全財政のあり方、自主財源確保、指定管理者制度の導入、支所機能の充実など、「行財政」に関わる質問であり、誕生九カ月、北杜市成長の継続した方向性についての関心の高さが伺えました。また、大きな課題である「廃棄物処分場」についても先進地視察を行ってきました。

議会だよりにつきましては、市民の皆様から「読みやすい」との励ましをいただき、議会広報編集委員として、より充実を思っているところです。これからも、ご愛読をお願いするとともに、ご意見をお寄せください。

- | | |
|------------|-------|
| 議会広報編集委員会 | |
| 委員長 中村 勝一 | |
| 副委員長 渡邊 英子 | 小澤 宜夫 |
| 委員 五味 良一 | 小林 忠雄 |
| 内藤 昭 | 中嶋 新 |
| 鈴木今朝和 | 中村 隆一 |
| 議会事務局 | |
| 局長 三枝 基治 | |
| 小澤 永和 | 樋泉 留美 |

〒408-0188 山梨県北杜市須玉町大豆生田961-1
TEL.0551-42-1303 FAX.0551-42-1128
URL: <http://www.city.hokuto.yamanashi.jp/>
E-mail: info@city.hokuto.yamanashi.jp

